

## 人権学習 パラキャン体験講座実施

6月21日(金)午後には障がい者スポーツ選手を迎え、車いすバスケットボールをとおして様々なことを学びました。

まず、教員チームで車いすバスケットの体験、その後、生徒チームで体験をしました。

生徒たちは、車いすバスケットをやってみて、皆「楽しい!」という感想をもちました。

また、講師の方から、「皆それぞれできることとできないことがある」というお話があり、障がいに対するイメージがポジティブに変わりました。

生徒は、選手が車いすバスケットをするきっかけや障がい者スポーツとしてルール、車いすに乗った感覚が新鮮だったようです。感想でも、「できないことを見つけるより、できることを見つける気持ちが素敵」、「皆に苦手、得意なことがある」「障がいがあるから何もできない、わけではない」など自分に置きかえて考えられるようになったようです。

最後の質問コーナーでも、積極的に質問している姿が印象的でした。

